

4 第16回認定 構造改革特別区域計画の概要(都道府県別)

| 番号 | 都道府県名 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 特区の名称 | 特区の区域の範囲 | 特区計画の概要 | 規制の特例措置の番号 | 特定事業の内容 | 特区分野 |
|-----------------|-------|--------------------|-----------------------------|----------------|---|------------|---|---------|
| 新規計画 16件 | | | | | | | | |
| 1 | 北海道 | のほりべつし 登別市 | 安全で安心な給食特区 | 登別市の全域 | 近年、核家族化の進行やライフスタイルの変化に伴い、朝食を食べない等、不適切な食事による子どもの心身への影響が懸念されている。規則正しい生活リズムの確立、バランスのとれた食生活、望ましい食習慣の定着に向けた食育を推進する必要がある。給食センターから保育所に給食を提供することで子どもたちの健やかな成長を促すことができる。また、地場の食材を使用することで、安全で安心できる給食を提供できる。さらに食材の一括購入などにより経費を削減し、保育所の効率運営を図る。 | 920 | ・公立保育所における給食の外部搬入容認 | 生活福祉関連 |
| 2 | 北海道 | わさむちちょう 和寒町 | 自然の恵み野和寒町教育特区 | 北海道上川郡和寒町の全域 | 和寒町では少子高齢化が進み、小・中学校の統廃合に伴う跡地活用が大きな課題となっている。また、和寒高校の生徒募集停止が決定されるなど、地域活力の低下が懸念されている。学校設置会社による通信制高校を設置することによって、特別な配慮を必要とする生徒に対する教育機会を提供するとともに、本町における高校教育機会を確保する。また、スクーリングにおける体験学習や地域行事への参加などを通じ、都市部に暮らす若者たちに地方の良さや現状を伝えるとともに、生徒と町民が交流を図ることによって地域の活性化を図る。 | 816 | ・学校設置会社による学校設置 | 教育関連 |
| 3 | 秋田県 | 秋田市 | 秋田市地域密着共生型福祉特区 | 秋田市の全域 | 秋田市では、各種規制緩和と措置を活用することにより、基準該当施設で障害児(者)の受入が可能となり、市内全域で障害の有無や年齢の区別無く福祉サービスが推進されている。こうした措置と併せて、本計画で小規模多機能型居宅介護事業所において、障害児(者)の受入を可能とすることにより、障害児(者)の地域での自立を促進するとともに、秋田市型福祉サービスの一層の推進を図る。 | 934 | ・指定小規模多機能型居宅介護事業所における障害児等の受入の容認 | 生活福祉関連 |
| 4 | 秋田県 | せんぼくし 仙北市 | 仙北市おぼこの里どぶろく特区 | 仙北市の全域 | 仙北市は、山、湖、温泉、歴史街区などを持つ県内屈指の観光地であるが、滞在者の減少や冬季観光の不振などの課題も多い。 また、都市農村交流の推進では、長年修学旅行を受け入れてきたが、今後、団塊の世代を中心とする熟年層にアピールする魅力づくりが必要である。 さらに、基幹産業である農業は稲作に偏重しており、米離れや米価下落等による、農村の活力低下は大きな問題となっている。 このため、農山村の魅力アップや冬季観光の目玉として濁酒の製造と提供を推進し、都市農村交流の拡大、アグリビジネスの活性化、「地産地消のまち」としての地域イメージ確立などを通じて、平成27年における交流人口1千万人の実現を図る。 | 707 | ・農家民宿等における濁酒の製造免許の要件緩和 | 農業関連 |
| 5 | 秋田県 | はちろうがたまち 八郎潟町 | 八郎潟どぶろく特区 | 秋田県南秋田郡八郎潟町の全域 | 八郎潟町は、近年、農業従事者の高齢化に伴う担い手不足などが課題となっており、町全体の活力の低下が進んでいる。このたび地元農家が地場産の米、野菜を使った農家レストラン「農家のカレー屋さん」をオープンさせました。郷土料理の一品として濁酒を提供することにより、農家レストランの付加価値を高め、新たな観光資源となることが期待されている。そして、暖かいおもてなしと心のふれあいを大切にしながら交流人口の増加を図り、地域農業と観光事業を一体化し、連鎖効果により活性化を目指す。 | 707 | ・農家民宿等における濁酒の製造免許の要件緩和 | 産業活性化関連 |
| 6 | 東京都 | たちかわし 立川市 | ネット学習(eラーニング)事業を活用したまちづくり特区 | 立川市の全域 | 立川市は、交通の要衝や業務核都市としての特性を活かし、児童等に対する指導教員養成ニーズの拡大並びに医療制度改革等に伴う人材の質的向上等、社会的ニーズの増大に応える責務があると考えられる。今回、学校設置会社におけるインターネット等のみを用いた大学の設置により本課題の解決を図るものである。これにより、高度専門職人材の養成に加え、立川らしさや高い文化性の増進、国際的コミュニケーションの醸成、地域に学術を伝える生活拠点としての活性化を目指す。 | 816 832 | ・学校設置会社による学校設置 ・インターネット大学における校舎等施設要件の弾力化 | まちづくり関連 |

| 番号 | 都道府県名 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 特区の名称 | 特区の区域の範囲 | 特区計画の概要 | 規制の特例措置の番号 | 特定事業の内容 | 特区分野 |
|----|-------|--------------------|------------------|----------------|---|------------|------------------------|--------------|
| 7 | 神奈川県 | 横浜市 | よこはま救急改革特区 | 横浜市の全域 | 横浜市は、全国で初めて救急業務を開始した救急発祥の地であるが、近年救急件数は増加傾向にあり、多発する救急要請の重複で救命処置開始が遅れるなど、「救える命も救えない」状況にある。そこで、特例措置を活用し、119番通報時の緊急度・重症度識別により、「緊急度・重症度が低い」と判断された場合、救急自動車1台に救急隊員2名で出場するなど弾力的運用を行う。これにより、救急事案の多発・重複等に対応できる救急隊が不在となる状況を解消し、早期の救命処置を開始することにより、救命率向上を図る。 | 413 | ・救急隊編成の弾力化 | 生活福祉関連 |
| 8 | 新潟県 | しほほし 新発田市 | 新発田市日本語教育特区 | 新発田市の全域 | 新発田市立の小中学校では、言語環境の乱れやコミュニケーション能力の欠如などにより人間関係のトラブルなど様々な問題が発生している。また、すべての学習の土台となる正しい日本語の教育を充実することは当市の大きな課題である。 これらの課題を解決するため、小中学校に、日本語の美しさや日本文化について考える教科「日本語」を設置し、豊かな情操や自己表現力、コミュニケーション能力、他者への思いやりの心等を身につけた子どもの育成を目指す。 | 802 | ・特区研究開発学校の設置(教育課程の弾力化) | 教育関連 |
| 9 | 山梨県 | 南アルプス市 | 南アルプス市バイリンガル教育特区 | 南アルプス市の区域の一部 | 南アルプス市は、国際的な視野をもつ住民の育成や在住外国人を含む市民の外国語講座・日本語講座等を開催し、互いに理解・協力し合えるまちづくりを進めている。 この取り組みに加え、新設される私立小学校の教育課程に「英語科」を新設するとともに、日本語と英語の両語を用いた授業を行い、国際社会に対応できる次代を担う人材の育成を図る。 | 802 | ・特区研究開発学校の設置(教育課程の弾力化) | 教育関連 |
| 10 | 岡山県 | なみほし 高梁市 | みんなワクワク給食特区 | 高梁市の全域 | 高梁市は平成16年10月1日に1市4町が合併し、まちづくりにおいても、また公立保育所の運営についてもそれぞれの特性を生かしながら全体の調整を行っている。川上保育園の給食施設の面積不足等から適正な給食の提供の維持が困難になってきている状況にあり、3歳以上児の給食を隣接する学校給食センターから外部搬入することにより、充実した給食の提供を行う。 | 920 | ・公立保育所における給食の外部搬入容認 | 生活福祉関連 |
| 11 | 岡山県 | わげちよう 和気町 | いきいき和気給食特区 | 岡山県和気郡和気町の全域 | 和気町では、幼児数の減少により、就学前教育の充実と小学校へのスムーズな移行を目的に、適正規模の集団生活を行い、心身の健全な育成を図るために幼・保一体化を目指している。そこで、本特例措置を活用し、佐伯保育所で行う調理業務のうち、3歳児～5歳児の給食については、和気町立学校給食調理場からの搬入方式とする。これにより幼児期からの小・中学生までの一貫した「食育」に取り組み、地元農産物を利用することにより地産地消を推進する。 | 920 | ・公立保育所における給食の外部搬入容認 | 幼保連携・一体化推進関連 |
| 12 | 広島県 | あきおたちよう 安芸太田町 | 安芸太田町いきふれあい給食特区 | 広島県山県郡安芸太田町の全域 | 安芸太田町は広島県の北西部に位置する過疎・高齢化、そして少子化が進む町である。就学前児童の保育所、幼稚園における望ましい集団の育ちを保障するため、施設の適正配置を進めていくこととしている。保育所の給食を学校給食共同調理場から外部搬入することにより、合理的な運営が可能となり、地元の食材の活用などにより豊かな給食の提供ができるようにするとともに、保育所から中学校まで一貫した食育を行う。また、節減された経費を多様な保育サービスに振り向け、より充実した子育てを支援する。 | 920 | ・公立保育所における給食の外部搬入容認 | 幼保連携・一体化推進関連 |

| 番号 | 都道府県名 | 作成主体名 (地方公共団体名) | 特区の名称 | 特区の区域の範囲 | 特区計画の概要 | 規制の特例措置の番号 | 特定事業の内容 | 特区分野 |
|---------------|-------|--------------------|----------------------|---------------------|---|--------------------------|---|------|
| 13 | 愛媛県 | とうおんし 東温市 | “とうおんブランド”どぶろく特区 | 東温市の全域 | 東温市は、温暖な気候に恵まれ、米麦の二毛作農業を基幹に発展してきた。 最近の厳しい農業情勢から、農業者の高齢化が進み地域が衰退している。このため、農産物を活用した「地域ブランド」づくりに取り組み、地域振興を図っている。 今回、どぶろくを、“とうおんブランド”の一つに位置付け、どぶろくを製造する農家食堂や農家民宿の起業を促進し、豊かな市内観光資源と地域農業を活用する農林業体験型グリーンツーリズム等に組み入れ、活力ある新しい農山村地域の創出を目指す。 | 707 | ・農家民宿等における濁酒の製造免許の要件緩和 | 農業関連 |
| 14 | 高知県 | むろとし 室戸市 | 室戸市生活改善・モジュール学習特区 | 室戸市の全域 | 室戸市では、近年、地域や社会の変化による基本的な生活習慣確立の困難さと、小学校段階からの学習内容の基礎基本の定着不足による、中学生の学力・学習意欲の低下が教育的課題となっている。このため、市内中学校において、家庭・学校・地域が連携し子ども達の生活環境を整える取組を進めるとともに、「総合基礎科」を新設し、「読み書き計算」のモジュール反復学習を行う。これにより、将来的に地域社会の担い手となる子ども達の「生きる力」の基盤強化を図る。 | 802 | ・特区研究開発学校の設置(教育課程の弾力化) | 教育関連 |
| 15 | 熊本県 | やまとうしやう 山都町 | 潤い、文楽、そよ風でつづるまちづくり特区 | 熊本県上益城郡山都町の全域 | 九州の中央に位置する山都町は、中山間地域で少子化、高齢化、過疎化が進んでいる。このような中でこそ教育が重要であるが、全国的な社会問題である不登校生徒が町内においても発生している。 本町に広域通信制高等学校を設置することで、町内はもとより、県内及び九州各県の中途退学者や不登校生徒に教育を受ける機会を与え、若者の自立を促す。 地域においては、学校が存在することでつながりを持ち、これを契機として将来生徒が地域の支え手となっていくことを図る。 | 816 | ・学校設置会社による学校設置 | 教育関連 |
| 16 | 沖縄県 | 那覇市 | 那覇市書道特区 | 那覇市の全域 | 那覇市では小学校において学習への集中力の欠如や立ち歩きなど、とりわけ低学年で学校生活に適應できない児童への対応について問題を抱えている。小学校の第1、2学年に書道科を設置し、書道の持つ美意識や人格陶冶の有効性を活用することで、規範意識、集中力を養成し、伝統芸術の学習を通して児童の国際性を涵養することで、学力の向上と豊かな心を持った人格形成を目指す。 | 802 | ・特区研究開発学校の設置(教育課程の弾力化) | 教育関連 |
| 変更計画1件 | | | | | | | | |
| 1 | 岡山県 | 岡山市 | 岡山市御津教育特区 | 岡山市の区域の一部 (旧御津町) | 岡山市御津地域は、廃校となった小学校の校地校舎を貸与することによって、学校設置会社による学校を誘致し、公立校との共存の中での教育的刺激や住民の選択肢の多様化、あるいは廃校を活用し、併せて過疎に悩む地域の振興や活性化に繋げようとして、既に認定された「研究開発学校設置事業」「学校設置会社」による学校設置事業を実施し、中高一貫教育ができる中学校と高等学校を開校した。なお、今回の申請は、教科書の早期給与事業による教育課程の内容等の変更に伴う区域計画の変更の認定を申請するものである。 | 802 816 819 820 | ・特区研究開発学校の設置(教育課程の弾力化) ・学校設置会社による学校設置 ・特区研究開発学校における教科書の早期給与 ・校地、校舎の自己所有を要しない小学校等設置 | 教育関連 |